

17 魅力ある観光の振興			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	伊東 良之	電話番号	042-481-7176
関係課名 （組織順）	広報課，文化生涯学習課，環境政策課，緑と公園課，都市計画課，図書館，郷土博物館		
目的	対象	市民，来訪者	
	意図	市民がまちに愛着と誇りを持つ，多くの来街者が市内を回遊する	
施策の方向	地域資源の魅力の向上と積極的な活用により，市民がまちに愛着と誇りを持ち，多くの来訪者からも訪れたいと思われる，にぎわいのあるまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 令和3年度の振り返り — 取組実績（DO）

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p>（17-1 「映画のまち調布」の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2022」におけるイベント等の一部中止が生じたが，イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら，創意工夫による実施方法を模索し，実施可能な事業に取り組むことで，映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマとした「映画のまち調布」の推進を図った。具体的には，「映画のまち調布 シネマフェスティバル2022」において，井上あずみファミリーコンサートをオンライン配信したほか，乳幼児とその保護者を対象とする，「みる」母と子の映画寺子屋上映会，小学生を対象とする，「つくる」子どもたちと映画寺子屋，中学生を対象とする，「ジュニア映画塾」など，世代に合わせた体験型ワークショップ等を実施した。 フィルムコミッション事業については，新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し，積極的な口ケ支援に努め，撮影実績等をホームページなどで公表することで，地域の魅力向上につなげる取組を推進した（撮影実績は，前年度比2件増で126件）。 ロケツーリズムの取組については，市長会の補助金を活用した3市町（調布市，狛江市，日の出町）での展開を継続したほか，ロケーションジャパン大賞において，市と映画「花束みたいな恋をした」がグランプリを受賞した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 映画・映像関連企業や団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。 近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムに取り組んだ。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響下においても，2つの撮影所をはじめ，40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」をPRするとともに，感染拡大防止策を講じたうえで積極的なフィルムコミッションの取組によるロケツーリズムを推進した。
<p>（17-2 地域資源を活用したにぎわいの創出）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により，市，観光協会だけでなく，市内の観光イベントの中止が相次ぎ，観光振興施策の推進が困難な状況であったが，観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ，多様な主体と連携し，創意工夫による実施方法の模索を行い，国や東京都のイベント実施基準を遵守したうえで，実施可能な事業に取り組んだ。 「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については，観光協会や関連企業と連携して取り組むことで，効果的な展開を図ることができた。 古刹・深大寺を核とする観光事業では，深大寺地域の団体等と連携し，深大寺周辺の観光及び経済の回復・再活性化を目的とした「深大寺周辺店舗スタンプラリー」事業や，「深大寺周辺散策マップ」（深大寺そば組合・深大寺奉賛会加盟店の案内）の発行を支援した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2 「にぎわいとうるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 水木プロダクション，東映アニメーション，イオンシネマ シアタス調布等と連携し，水木しげる氏生誕100周年を見据えた「水木マンガの生まれた街 調布」を推進した。 <p>②調布のまちの魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種関連企業と連携したSNS等の広告媒体を活用した情報発信により，新型コロナウイルス感染症の影響下においても，「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」など，地域資源を活用した調布のまちのPRにつなげた。

(17-3 多様な主体と連携した観光事業の推進)

- ・一般社団法人石巻観光協会との友好交流協定の締結や、映画関連企業と連携した撮影体験ワークショップの実施に加え、一日も早いコロナ禍の終息による姉妹都市交流事業の再開を祈念し、コロナ禍の影響で減少した木島平村の観光客増加の一助とするため、木島平村で花火の打上げを行うなど、様々な観光振興事業を支援することで、調布の魅力向上につなげた。
- ・深大寺や神代植物公園をはじめ、市内の関連企業や団体が実施するイベント事業などについても、積極的な情報発信に努め、観光振興に少しでもつながるよう取り組んだ。

①横断的連携による施策の推進

■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、観光協会と協力し、京王電鉄、京王線沿線他市、石巻観光協会及び木島平村など、市外の関連団体との連携にも力を入れ、観光振興に向けて取り組んだ。

②調布のまちの魅力発信

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍以前より発信機会は減少したが、観光協会の公式ホームページや市のホームページをはじめ、フェイスブックやツイッターなどのSNSによる調布の魅力発信を行った。

<令和3年度における施策の成果についての総括>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市、観光協会だけでなく、市内の観光イベントの中止が相次ぎ、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ、多様な主体と連携し、創意工夫による実施方法の模索を行い、国や東京都のイベント実施基準を遵守したうえで、実施可能な事業に取り組んだ。
- ・「映画のまち調布」の推進については、イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら、創意工夫による実施方法を模索し、実施可能な事業に取り組むことで、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとした「映画のまち調布」の推進を図った。
- ・フィルムコミッションについては、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、積極的なロケ支援に努め、撮影実績等をホームページなどで公表することで、地域の魅力向上につなげる取組を推進した（撮影実績は、前年度比2件増で126件）。
- ・ロケツーリズムの取組については、市長会の補助金を活用した3市町（調布市、狛江市、日の出町）での展開を継続したほか、ロケーションジャパン大賞において、市と映画「花束みたいな恋をした」がグランプリを受賞した。
- ・「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進については、観光協会や関連企業と連携して取り組むことで、効果的な展開を図ることができた。
- ・古刹・深大寺を核とする観光事業では、深大寺地域の団体等と連携し、深大寺周辺の観光及び経済の回復・再活性化を目的とした「深大寺周辺店舗スタンプラリー」事業や、「深大寺周辺散策マップ」（深大寺そば組合・深大寺奉賛会加盟店の案内）の発行を支援した。
- ・その他にも、一般社団法人石巻観光協会との友好交流協定の締結や、映画関連企業と連携した撮影体験ワークショップの実施に加え、姉妹都市である木島平村で花火の打上げを行うなど、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、観光振興に資する取組を積極的に支援することで、調布の魅力向上につなげた。

まちづくり指標	基準値 (基準年度)	単位	実績値			目標値	達成状況※
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
1 「映画のまち調布（映画・映像を"つくる・楽しむ・学ぶ"まち）」を進める取組に満足している市民の割合	69.0 (H30)	%	75.7	78.2	78.6	75.0	◎
2 観光案内所への来所者数	8万 1,815 (H29)	人	9万 8,579	2万 8,683	3万 1,132	10万	○
3 調布市観光協会発信のSNSのフォロワー数	6,005 (H30)	人	7,000	7,600	8,891	1万	○
【特記事項】							

※R3年度の達成状況は、以下の区分により記号を記入

- ◎：目標値を達成
- ：前年度より向上した
- ▼：前年度より低下した
- ⇒：前年度と同じ
- －：数値未把握（調査未実施など）

◆まちづくり指標の目標達成見込み（令和4年度見込みを含めた現基本計画期間における達成度）

- 達成見込みを次の区分により記号を記入
 - ◎：「目標値達成に向け順調に推移」
 - ：「目標値達成は現状難しいが、前年度より向上する見込み」
 - △：「目標値達成は現状難しく、前年度と同等又は悪化する見込み」

まちづくり指標	達成見込み	要因・課題 (目標達成・未達成の要因・次期基本計画に向けた課題等)
1 「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組に満足している市民の割合 (目標値：75.0% 現状値：78.6%)	◎	フィルムコミッションや、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」などの取組の成果が表れている。
2 観光案内所への来所者数 (目標値：10万人 現状値：3万1,132人)	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況にある。
3 調布市観光協会発信のSNSのフォロワー数 (目標値：1万 現状値：8,891人)	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光振興施策の推進が困難な状況にある。

2 令和3年度の振り返り — 評価 (CHECK)

◆施策の成果向上に向けて、令和3年度に実施した取組に対する評価
※コロナ禍を踏まえたプロセス、実績、成果の総合評価

総合評価	A	S：「実施した取組において顕著な成果が得られた。」 A：「実施した取組において予定した成果が得られた。」 B：「実施した取組において一定程度の成果が得られた。」 C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」 D：「実施した取組において成果が得られなかった。」
評価理由	・コロナ禍の影響を受ける中で、地域資源を活用した調布のPRを継続するとともに、創意工夫により、実施可能な事業に取り組むことで、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進をはじめとする観光振興施策を展開することができたため。	

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む）における施策の取組状況

- 左欄と右欄において、丸数字で対になるよう記載

計画どおり・計画より進んだ取組等 (現基本計画で予定した成果が十分得られる)	今後の取組の方向 ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
①「映画のまち調布」の推進 ②「水木マンガの生まれた街 調布」の推進	①引き続き、映画・映像関連企業と連携しながら、映画・映像を「つくる」「楽しむ」「学ぶ」をテーマとした「映画のまち調布」の推進を図っていく。 ②水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携し、水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクトの取組を推進する。 また、名誉市民・水木しげる氏の作品や著作などの御功績を後世に伝えつつ、まちづくりにも生かす取組の推進を継続していく。
計画より遅れた取組等 (現基本計画で予定した成果が得られない)	遅れの理由や次期基本計画に向けた対応課題等 ※近隣自治体との比較があれば併せて記載
①深大寺、神代植物公園をはじめとする深大寺周辺のにぎわいの創出	①新型コロナウイルス感染症の影響により、取組の推進が困難な状況にあった。 今後は、開創1300年の節目に向けて、にぎわいの創出やPRの強化に努めていく。

◆現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）における施策の成果についての総括

・令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019 日本大会の開催を契機として、商工会、観光協会、商店会、市内事業者等多様な主体と連携し、調布駅を中心に、過去最大のにぎわいの創出を図ることができ、地域経済活性化や調布のPRに大きくつながった。 ・しかし、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市や観光協会だけでなく、市内の観光イベントの中止が相次ぎ、観光振興施策の推進が困難な状況であったが、観光振興の中心的な役割を担う観光協会をはじめ、多様な主体と連携し、地域資源を活用した調布のPRを継続するとともに、創意工夫により実施可能な事業に取り組むことにより、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進をはじめとする観光振興施策の展開を図ることができた。	
評価	【評価区分】 現基本計画期間（令和4年度見込みを含む4年間）に対する進捗状況について、S～Dの5段階で評価 S：「計画以上に進捗した。予定以上の取組成果が得られた。」 A：「計画どおりに進捗した。予定した取組成果が得られた。」 B：「概ね計画どおりに進捗した。一定の取組成果が得られた。」 C：「進捗にやや遅れがみられた。あまり取組成果が得られなかった。」 D：「進捗に大きな遅れがみられた。ほとんど取組成果が得られなかった。」

3 次期総合計画期間を含む中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

◆施策を取り巻く状況【A】（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※次期基本計画における重要な視点となる「デジタルトランスフォーメーション (DX)・スマートシティ」、「カーボンニュートラル」、「産学官連携」のほか、施策横断的なテーマである「共生社会の充実 (パラハート)」、「安全・安心 (防災・減災・防犯・感染症対策)」、「ソフト・ハードが一体となったまちづくり (中心市街地整備, 地域別まちづくり, 都市計画道路整備)」に関する状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流等	①観光庁「観光ビジョン実現プログラム2020」 (1) 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大幅に減少し、観光関連産業に深刻な影響が生じている。このため、まずは雇用の維持・事業の継続の支援に注力するとともに、反転攻勢に転じるための基盤を整備し、感染の状況等を見極めつつ、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光の回復を図る。その上で、国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドの回復を図る。 (2) インバウンド促進に向け引き続き取り組む施策 国内外の感染症の状況を十分に見極めつつ、インバウンドの再開に備え、これまで進めてきた受入環境整備や新たなコンテンツづくりに引き続き戦略的に取り組む。	①②新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、Wi-Fi 環境の整備や観光マップ等の多言語対応など、観光客の受入れ環境の整備に取り組むほか、継続的にコンテンツの磨き上げを行うとともに、アニメやロケを活用したツーリズムの展開を図っていく。
東京都や近隣自治体の動向等	②東京都「未来の東京」戦略ビジョン（令和元年12月策定） (1) 戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略 「オールジャパンでの戦略的な観光振興プロジェクト」の中で、「東京と日本各地がWin-Winとなるようなオールジャパンでの広域的・戦略的な観光振興」、「官民一体のオール東京による観光振興の推進」を掲げ、訪都外国人旅行者数3000万人超を目指すとともに、「体験・まち歩きスマート観光プロジェクトや「魅力ある観光コンテンツ創出プロジェクト」により、誰もがストレスなく観光を楽しめる環境の実現や訪都外国人旅行者による消費額2.7兆円超、国際会議開催件数世界3位以内を目指す。	
その他		

◆施策を取り巻く状況【B】（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

※上記の施策を取り巻く状況【A】の項目以外で、法改正・制度改正などの状況や方向を記載

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流等	①国連世界観光機関（世界観光指標2022年5月号） 観光は力強いペースで回復を続けている。2022年第1四半期の国際観光客到着数は、前年同期比で182%増となり、4100万人だった到着数が約1億1,700万人となった。国・地域が渡航制限の緩和解除をし続ける限り、2022年は、2021年に比較して見通しがよくなると見込んでいる。しかし、ロシア連邦とウクライナの紛争による不確実性により、国際観光の実質的な回復が遅れる可能性がある。 ②観光庁「観光ビジョン実現プログラム2020」 (1) 国内の観光需要の回復と観光関連産業の体質強化 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大幅に減少し、観光関連産業に深刻な影響が生じている。このため、まずは雇用の維持・事業の継続の支	①新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、国や東京都のイベント実施基準を遵守したうえで、極力事業を中止することなく、創意工夫により各種の観光振興施策の推進に取り組んでいく。 ②③新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、Wi-Fi 環境の整備や観光マップ等の多言語対応など、観光客の受入れ環境の整備に取り組むほか、継続的にコンテンツの磨き上げを行うとともに、アニメやロケを活用したツーリズムの展開を図っていく。 ④深大寺開創1300年を見据え、関連する団体等と連携し、深大寺をはじめとした周辺地域の魅力発信を図っていく。

	<p>援に注力するとともに、反転攻勢に転じるための基盤を整備し、感染の状況等を見極めつつ、強力な国内需要の喚起策を講じ、国内観光の回復を図る。その上で、国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国等からインバウンドの回復を図る。</p> <p>(2) インバウンド促進に向け引き続き取り組む施策 国内外の感染症の状況を十分に見極めつつ、インバウンドの再開に備え、これまで進めてきた受入環境整備や新たなコンテンツづくりに引き続き戦略的に取り組む。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自治体の動向 東京都や近隣</p>	<p>③東京都「未来の東京」戦略ビジョン（令和元年12月策定）</p> <p>(1) 戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略 「オールジャパンでの戦略的な観光振興プロジェクト」の中で、「東京と日本各地がWin-Winとなるようなオールジャパンでの広域的・戦略的な観光振興」、「官民一体のオール東京による観光振興の推進」を掲げ、訪都外国人旅行者数3000万人超を目指すとともに、「体験・まち歩きスマート観光プロジェクトや「魅力ある観光コンテンツ創出プロジェクト」により、誰もがストレスなく観光を楽しめる環境の実現や訪都外国人旅行者による消費額2.7兆円超、国際会議開催件数世界3位以内を目指す。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<p>④深大寺は、2033年に開創1300年を迎える。</p>	

施策17「魅力ある観光の振興」に関する基本計画事業

計画コード	56	重点P	④	にぎわいと交流のある活気に満ちたまち
事務事業	「映画のまち調布」の推進			総合戦略 ●
所管部署	生活文化スポーツ部 産業振興課 商業観光係			
事業概要	市内の映画・映像関連企業や市民団体との連携を図りながら、フィルムコミッション事業や世代に合わせた各種映画関連イベントの実施により、広く市民に“映画”に親しんでもらうとともに、映画産業の活性化と観光振興を図る。 映画関連企業の映画・映像に係る取組の情報発信を行い、「映画のまち調布」のPRに取り組む。			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○市内映画・映像関連の地域資源を活用した観光・文化・産業などの分野における地域活性化の促進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進
	事業費 (千円)	13,763	13,652	8,973
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0
令和3年度取組実績	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input checked="" type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2022」におけるイベント等が一部中止されたが、イオンシネマ シアタス調布を含む映画・映像関連企業や団体と連携しながら、創意工夫による実施方法を模索し、実施可能な事業に取り組むことで、映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマとした「映画のまち調布」の推進を図った。 具体的には、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2022」において、井上あずみファミリーコンサートをオンライン配信したほか、乳幼児とその保護者を対象とする、「みる」母と子の映画寺子屋上映会、小学生を対象とする、「つくる」子どもたちと映画寺子屋、中学生を対象とする、「調布ジュニア映画塾」など、世代に合わせた体験型ワークショップ等を実施した。 フィルムコミッション事業については、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、積極的なロケ支援に努めたほか、撮影実績等をホームページなどで公表することで、地域の魅力向上につながる取組を推進した（撮影実績は、前年度比2件増で126件）。 ロケツーリズムの取組では、市長会の補助金を活用した3市町での展開を継続した。また、ロケーションジャパン大賞において、市と映画「花束みたいな恋をした」がグランプリを受賞した。			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	令和4年度においても、引き続き、映画・映像を「つくる」・「楽しむ」・「学ぶ」をテーマとして、世代に合わせた様々なイベントを展開する。また、「映画のまち調布」応援キャラクター「ガチョラ」を活用したPRに取り組むほか、市内の映画・映像関連企業や市民団体と積極的に連携することで、「映画のまち調布」の推進を図る。併せて、これまで、ノウハウを蓄積してきた、撮影映像等の著作権処理の手法を活かし、調布市内で撮影された映画やドラマの情報発信を効果的にを行い、調布の魅力向上を図る。 ◆新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、既存の取組の創意工夫による磨上げや、新規コンテンツの造成に努めるとともに、市内の映画・映像関連企業や市民団体と連携した施策の展開を積極的に図ることで、観光振興はもとより、社会経済活動の維持・再活性化につなげていく。			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。

施策17「魅力ある観光の振興」に関連する基本計画事業

計画コード	57	重点P		-
事務事業	調布市観光協会事業の促進			総合戦略 ●
所管部署	生活文化スポーツ部 産業振興課 商業観光係			
事業概要	<p>市民がまちの魅力に愛着と誇りを持つとともに、来訪者が回遊し、再び訪れたいと思われるような観光振興を目的として、次の事業を行う。</p> <p>①調布市観光協会が行う観光イベントを支援する。 ②深大寺をはじめとした特色ある地域資源を活かした観光事業の推進を支援する。 ③調布市観光協会が行う観光資源に関する情報発信などの活動を支援する。</p>			
[PLAN▶DO▶CHECK]				
活動内容 (事業費ベース)	計画目標	令和3年度		
		(計画)	(当初予算)	(決算・実績)
	○観光協会の運営支援と市がパイプ役となり観光協会と他団体との連携を図ることにより観光事業を振興する	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施）	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施）	○観光協会の運営支援（観光協会事業の実施）
	事業費 (千円)	20,918	23,544	19,405
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	0
令和3年度取組実績	<input type="checkbox"/> 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input checked="" type="checkbox"/> コロナ影響			実績評価 ◎
説明	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の観光イベントの中止が相次いだ。観光協会をはじめとする多様な主体と連携し、創意工夫による実施方法の模索を行い、国や東京都のイベント実施基準を遵守したうえで、実施可能な事業に取り組んだ。観光協会が実施する一部の事業も中止や規模縮小を余儀なくされたが、古刹・深大寺を核とする観光事業では、深大寺周辺の観光及び経済の回復・再活性化を図るために、観光協会が深大寺地域の団体等と連携して実施した、「深大寺周辺店舗スタンプラリー」事業や「深大寺周辺散策マップ」（深大寺そば組合・深大寺奉賛会加盟店の案内）の発行を支援した。その他にも、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進（「ゲゲゲの2021」の開催など）等、市が基本計画に掲げる取組を積極的に支援し、市の施策と連動して、観光振興を図ることができた。</p> <p>また、コロナ禍の終息による姉妹都市交流事業の再開の祈念等を目的とする、木島平村での花火の打上げや、映画・映像関連企業と連携した撮影体験ワークショップの実施のほか、一般社団法人石巻観光協会との友好交流協定の締結など、様々な観光協会事業を支援することで、調布の魅力向上につなげた。</p>			
				
[ACTION]				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>◆新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、市の観光振興の促進を目的として、SNSを活用した調布の魅力発信や、古刹・深大寺を核とする観光事業の実施、「映画のまち調布」や「水木マンガの生まれた街 調布」の推進といった、市が基本計画に掲げる取組を継続的に支援し、観光協会と連携して取り組んでいく。</p> <p>令和4年度は、名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年（令和4年）を記念し、「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」として、観光協会に加え、水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携し、様々な取組を展開することで、功績を後世に伝えつつ、まちづくりにも生かす取組を大きく推進する。</p> <p>また、観光振興や平和祈念をはじめとする関連施策を有機的に連動させ、水木氏の作品や著作に触れる機会の創出に注力することで、従来からのファンはもとより、本プロジェクトを契機として、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持ってもらい、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進につなげていく。</p>			

※新型コロナウイルスの影響に関連する内容は冒頭に「◆」印を記載しています。